

セクションIX 寄生虫学 Parasitology	到達レベル (知識)	到達レベル (手技・技能)
1. 検体の採取法, 保存, 輸送		
1) 検体採取のタイミングと採取方法を説明できる。	B	
2. 標本作製		
・目的に応じた標本作製でき, 正しく判定できる。		
1) 標本を正しく作製できる。		
①生鮮標本	A	a
②永久塗抹標本	B	c
③薄層塗抹標本	B	b
④厚層塗抹標本	B	b
⑤セロファンテープ法	B	c
2) 集卵(嚢子:シスト)法を実施できる。		
①ホルマリン・エーテル法 (MGL法)	B	b
②蔗糖浮遊法	B	b
③AMS III法	B	c
3) 以下の染色法を実施できる。		
①Giemsa染色	A	b
②コーン染色	B	b
③Kinyoun染色	A	b
④ヨード染色	A	b
⑤鉄ヘマトキシリン染色	B	c
⑥免疫蛍光染色	B	c
⑦トルイジンブルーO (TBO) 染色	B	c
⑧Grocott染色	B	c
⑨PAS染色	B	c
4) 鏡検所見から以下の寄生虫を推定できる。		
①赤痢アメーバ (<i>Entamoeba histolytica/dispar</i>)	A	b
②ランブル鞭毛虫 (<i>Giardia intestinalis : G. lamblia</i>)	A	b
③クリプトスポリジウム (<i>Cryptosporidium parvum, C. hominis</i>)	A	b
④サイクロスポーラ (<i>Cyclospora spp.</i>) およびイソスポーラ (<i>Isospora spp.</i>)	B	c
⑤クドア・セプテンブククタータ (<i>Kudoa septempunctata</i>)	B	c
⑥腔トリコモナス (<i>Trichomonas vaginalis</i>)	A	c
⑦アカンソアメーバ (<i>Acanthamoeba spp.</i>)	A	c
⑧マラリア原虫 (<i>Plasmodium spp.</i>)	A	b
⑨シラミ (アタマジラミ: <i>Pediculus humanus</i> , ケジラミ: <i>Phthirus pubis</i>)	B	c
⑩ヒゼンダニ (疥癬虫: <i>Sarcoptes scabiei</i>)	B	c
3. 寄生部位と検査法		
・以下の検体から検出される主な寄生虫と検査法を説明できる。	B	
①糞便, ②肛門周囲, ③直腸鏡下で採取した検体, ④十二指腸液, ⑤泌尿生殖器からの分泌物, ⑥喀痰, ⑦気管支鏡下で採取した検体, ⑧組織, ⑨血液, ⑩穿刺液 (リンパ節, 肝, 脾, 肺, 髄液等), ⑪角膜, ⑫その他		
4. 結果の解釈および届出		
・検査結果を解釈し, 以下の場合は感染対策室へ報告できる。	B	c
①届出義務のある寄生虫感染症, ②病院 (院内) 感染対策が必要な寄生虫感染症		

*A,B: 到達レベルAの菌とBの菌が混在する場合